



■ 主な内容 ■

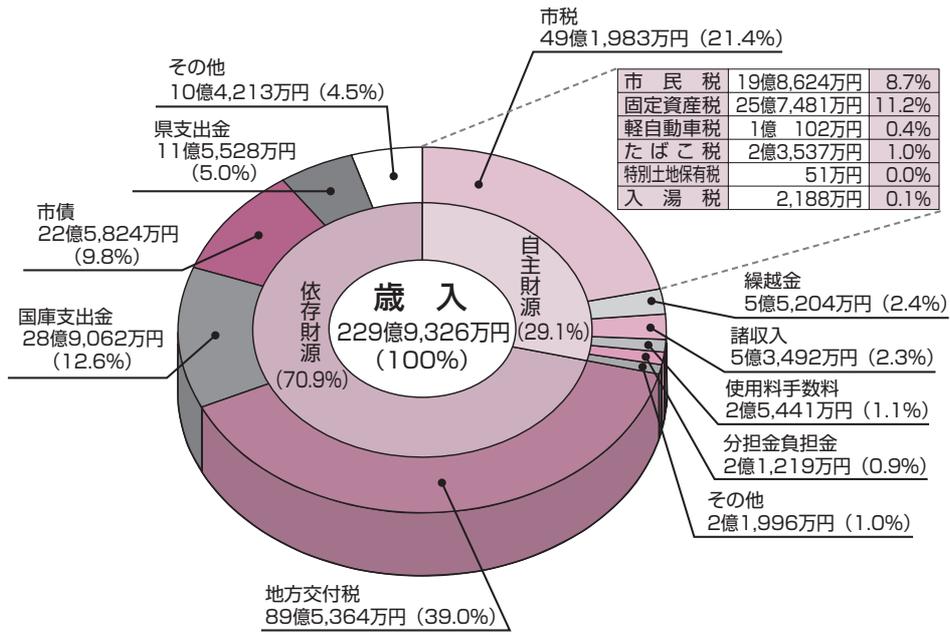
- P2～3 平成22年度決算報告
- P4 平成22年度常陸大宮市の健全化判断比率・資金不足比率
- P10～11 空き家の再利用考えてみませんか？
- P12 特定保健指導はあなたの健康づくりを応援します



しばし稲穂で休憩中

平成22年度決算報告

平成22年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。そこで、市民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。



平成22年度は、歳入については、経済不況の影響を受け、市民税の落ち込みにより市税が減収となるなか、地域活性化臨時交付金や財政調整基金及び市債等の活用により所要の財源を確保しました。

歳出については、地域情報整備推進事業による光ファイバーの敷設、常陸大宮済生会病院の運営安定化支援や医師確保基金の設置、予約制乗合タクシー運行や市道の整備、教育環境の充実を図るための小学校の耐震補強・改修や大宮中学校武道場の整備等、総合計画等に基づく各種施策を実施しました。また、東日本大震災では、即座に災害対策本部を設置して避難者の対応にあたるとともに、自衛隊の協力の下、炊き出しや給水など災害救助を行ったほか、災害ごみの受け入れ及び被災住宅の復旧相談等被災者支援に努めました。

一般会計の歳入決算額は229億9,326万円、歳出決算額は219億6,142万円、歳入と歳出の決算額に10億3,184万円の差があり、このうち平成22年度に完了しなかった事業（繰越事業）に充てる財源2億6,076万円を除いた7億7,108万円は、平成23年度の一般会計予算へ繰り越しています。

平成22年度末市債の現在高

区 分	現在高
一般会計	
合併特例事業債	49億5,003万円
過疎対策事業債	46億3,525万円
臨時財政対策債	81億3,781万円
その他	85億6,573万円
一般会計計A	262億8,882万円
※Aから地方交付税算入分を除いた市債残高	86億8,700万円
特別会計・企業会計	
国保診療施設勘定	1億4,883万円
公共下水道事業	32億1,777万円
農業集落排水事業	43億9,110万円
戸別浄化槽整備事業	2億2,049万円
簡易水道事業	28億1,054万円
宅地造成事業	1億2,523万円
温泉事業	5,018万円
上水道事業	12億2,010万円
特別会計等計B	121億8,424万円
※Bから地方交付税算入分を除いた市債残高	72億3,549万円
合計(A+B)	384億7,306万円
※合計(A+B)から地方交付税算入分を除いた市債残高	159億2,249万円

※印の項目は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補てんされる市債があり、それらの市債の残高から補てんされる金額を除いて実際に市が負担する見込み額です。

平成22年度特別会計・公営企業会計決算額

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引(A-B)	
国民健康事業勘定	51億1,313万円	48億8,112万円	2億3,201万円	
保険診療施設勘定	3億6,333万円	3億5,571万円	762万円	
老人保健	393万円	233万円	160万円	
公共下水道事業	5億9,675万円	5億8,269万円	1,406万円	
公営墓地	6,147万円	1,115万円	5,032万円	
農業集落排水事業	8億8,562万円	8億6,966万円	1,596万円	
介護保険	38億9,417万円	38億8,436万円	981万円	
簡易水道事業	8億8,548万円	8億 776万円	7,772万円	
宅地造成事業	2,918万円	2,846万円	72万円	
戸別浄化槽整備事業	3,995万円	3,899万円	96万円	
温泉事業	1億 200万円	7,828万円	2,372万円	
後期高齢者医療	4億1,718万円	4億1,696万円	22万円	
上水道事業	収益的収支	6億7,361万円	6億2,285万円	5,076万円
	資本的収支	6,726万円	2億4,943万円	▲1億8,217万円
合計	131億3,306万円	128億2,975万円	3億 331万円	

◎上水道事業会計の資本的収支の差引▲1億8,217万円（不足額）は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

【問い合わせ】
 財政課 財政グループ ☎52-1111 (内線375)

消防設備等の整備や商工振興等に係る費用

- ◆消防資機材（防火水槽・消火栓等）整備事業
- ◆商工会助成事業
- ◆商店街活性化支援事業（常陸大宮宅配サービス）補助
- ◆宮の郷工業団地企業誘致推進事業
- ◆2川（2000）愛ある特産品づくり事業
- ◆観光振興対策事業など

農道・林道整備や農林水産業振興等に係る費用

- ◆土地改良事業等による農道及び排水路整備
- ◆県営負担金事業による基盤整備
- ◆林道整備事業
- ◆木造住宅建設助成事業
- ◆県産材流通・加工体制整備事業補助
- ◆森林機能緊急回復整備事業など

道路・橋梁整備、公営住宅管理等に係る費用

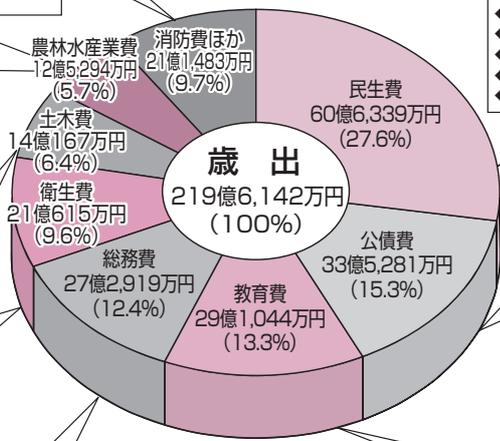
- ◆市道・橋梁整備事業
- ◆公営住宅、都市公園等管理事業
- ◆公共下水道事業特別会計繰出金など

保健衛生、広域型苑管理運営、ごみ収集等に係る費用

- ◆健康診査、予防接種及び結核予防事業
- ◆常陸大宮済生会病院運営安定化支援
- ◆医師確保基金設置
- ◆新型インフルエンザ等伝染病予防対策事業
- ◆広域型苑管理運営費
- ◆大宮地方環境整備組合負担金
- ◆ごみ収集委託など

地域振興等に係る費用

- ◆地域情報化計画策定事業
- ◆総合計画策定事業
- ◆市内循環バス運行事業
- ◆デマンド交通システム構築事業（乗合タクシーの実証運行）
- ◆地域情報通信基盤整備推進事業（光ファイバー幹線整備）
- ◆電波遮へい対策事業（地デジ対応アンテナ整備助成）
- ◆徴税対策費、選挙費など



障害者福祉、高齢者福祉、保育所費等に係る費用

- ◆障害者福祉対策事業
- ◆老人医療給付事業
- ◆子ども手当、保育所費、民間保育所施設整備助成、延長保育・休日保育実施助成、放課後児童健全育成事業
- ◆赤ちゃんの駅設置事業
- ◆母子・父子福祉手当支給事業
- ◆高齢者福祉対策事業
- ◆生活保護事業
- ◆東日本大震災関係災害救助費など

過去の借入金の返済等に係る費用

- ◆元金償還
- ◆利子償還
- ◆一時借入金利子

小・中学校・幼稚園管理費、生涯学習・スポーツ振興等に係る費用

- ◆小中学校校舎等の耐震化、環境整備、備品の充実
- ◆大宮中学校武道場整備事業
- ◆教育支援センター事業
- ◆小学校英語指導員、中学校英語指導助手配置事業
- ◆中学生海外研修事業
- ◆ふれあいの船体験事業
- ◆生涯学習推進事業、文化センター管理運営事業
- ◆(財)常陸大宮市体育協会設立支援事業
- ◆学校給食センター設備等の充実など



『ひたまるさんの家計簿』

財政用語が難しかったり、金額の桁数が大き過ぎて実感がわかないと言われることが多いので、市の財政状況を身近に感じていただけるように、一般会計の決算規模を5000分の1に縮小して『ひたまるさんの家計簿』に例えて表現してみました。市の財政と家庭の家計簿では仕組みが違い、完全な置き換えが難しいところが多々あることをご理解ください。

収入		入		
収入費目	歳入区分（目的別）	H22家計の収入	H21家計の収入	比較増減
給料	市税・分担金及び負担金・使用料及び手数料など	119万円	121万円	▲2万円
実家からの援助	地方交付税・各種交付金・国県補助金など	281万円	277万円	4万円
不動産収入	財産収入など	4万円	3万円	1万円
銀行などからの借入金	市債	45万円	44万円	1万円
貯金の取崩し	繰入金	0円	7万円	▲7万円
前年度からの繰越金	繰越金	11万円	11万円	0円
1年間の収入合計		460万円	463万円	▲3万円
支出		出		
支出費目	歳出区分（性質別）	H22家計の支出	H21家計の支出	比較増減
食費	人件費	89万円	95万円	▲6万円
電気・水道代などの日常生活費	物件費	55万円	58万円	▲3万円
医療費・介護費用など	扶助費	60万円	50万円	10万円
ローンの返済	公債費	67万円	72万円	▲5万円
家・車の修理代など	維持補修費	3万円	2万円	1万円
区会費・お祝金など	補助費等	33万円	51万円	▲18万円
子どもへの仕送り	繰出金	58万円	62万円	▲4万円
家の増改築・車の購入代など	投資的経費（普通建設事業費・災害復旧費）	54万円	52万円	2万円
友人への融資	投資及び出資金・貸付金など	4万円	4万円	0円
貯金	積立金	17万円	6万円	11万円
1年間の支出合計		440万円	452万円	▲12万円
次年度への繰越金（収入－支出）		20万円	11万円	9万円

市民の皆さんの市税負担額と市の歳出額

区分	1人当たり	1世帯当たり
市税負担額	106,182円	287,239円
歳出額	473,981円	1,282,194円

◎上記の金額は、平成23年3月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数（46,334人、17,128世帯）を用いて算出しています。

市民1人当たり・1世帯当たりの基金及び市債の現在高

区分	1人当たり	1世帯当たり	
基金	積立基金	9万9千円	26万8千円
	定額運用基金	2万6千円	7万1千円
	合計	12万5千円	33万9千円
市債	一般会計	56万7千円 (18万7千円)	153万5千円 (50万7千円)
	特別会計＋企業会計	26万3千円 (15万6千円)	71万1千円 (42万2千円)
	合計	83万円の (34万3千円)	224万6千円 (92万9千円)

◎上記の金額は、平成23年3月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数（46,334人、17,128世帯）を用いて算出しています。また、市債の「1人当たり」及び「1世帯当たり」の（ ）書きの金額は、地方交付税で補てんされる金額を除いています。

平成22年度 常陸大宮市の健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」に基づき、平成22年度の健全化判断比率・資金不足比率を公表します。

財政健全化法は、地方公共団体の財政の健全性に関する指標の公表制度を設け、その比率に応じて財政の早期健全化及び財政の再生、公営企業の経営の健全化を図るための必要な対策を実施することにより、地方公共団体の財政破綻を未然に防ぐことを目的としています。

早期健全化基準を超えた場合は財政健全化計画を、資金不足比率が経営健全化基準以上になった場合は経営健全化計画を定めることとなります。

平成22年度決算に基づき算定された常陸大宮市の健全化判断比率及び資金不足比率は、以下のとおりすべての指標において基準値を下回り健全性を維持しました。

健全化判断比率

指標名	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準	備考
実質赤字比率	— ^{※1}	12.75%	20.00%	^{※2} 普通会計の赤字を標準財政規模と比較したものです。 ^{※3}
連結実質赤字比率	—	17.75%	35.00%	市のすべての会計の赤字や黒字を合算し、標準財政規模と比較したものです。
実質公債費比率	13.90%	25.00%	35.00%	特別会計や一部事務組合等も含めた市の実質的な公債費を、標準財政規模と比較した3カ年の平均値です。
将来負担比率	91.80%	350.0%		市の借金のほか関係法人等まで含めて市が将来支払わなければならない債務を、標準財政規模と比較したものです。

※1 赤字がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」と表示しています。

※2 一般会計に公営墓地、温泉事業の2つの特別会計を合わせたものです。

※3 地方公共団体が標準的に収入されると見込まれる市税などの一般財源の規模を示すものです。

資金不足比率

会計名	資金不足比率	経営健全化基準	備考
上水道事業会計	—	20.00%	資金不足比率は、公営企業会計ごとの資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較した比率です。
簡易水道事業特別会計	—		
公共下水道事業特別会計	—		
農業集落排水事業特別会計	—		
戸別浄化槽整備事業特別会計	—		
宅地造成事業特別会計	—		

○資金不足額がないため、資金不足比率は「—」と表示しています。

市議会定例会

平成23年第3回常陸大宮市議会定例会が、9月1日から22日まで開会されました。この定例会では、次の議案の審議が行われ、それぞれ可決、認定及び同意されました。

市長提出議案

平成22年度決算

○常陸大宮市一般会計歳入歳出決算ほか特別会計（12会計）歳入歳出決算の認定について

条例

○議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例
 ○常陸大宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

○スポーツ基本法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
 ○常陸大宮市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

平成23年度補正予算

○常陸大宮市一般会計補正予算ほか特別会計（9会計）補正予算

人事

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

（敬称略）

大串 昌太郎（山方）
 石川 博保（長倉）

その他

○市道路線の廃止、変更について

長寿を祝って
各地で敬老会開催

敬老の日にあたり、9月15日と22日、市長、副市長、保健福祉部長が、100歳以上のご長寿の方々を訪問し、市及び市社会福祉協議会から祝い金や記念品をお贈りしました。そして、今年度100歳を迎えられる方には、内閣総理大臣と県知事からの褒状・記念品を贈り長寿をお祝いました。

また、市内各地域で、市内にお住まいの75歳以上の方を招いて長寿を祝う会が催され、大宮地域の社協大宮支部、山方・緒川地域では交通安全講話が実施され、交通事故防止を



▲山方地域の敬老会

市内100歳以上の皆さん

呼びかけました。9月1日現在、市内の65歳以上の人口は13286人で、うち100歳以上の方は42人（男性9人、女性33人）で昨年より8人増えました。次の表は、平成23年度中に100歳を迎えられる皆さんです。

年齢	氏名 (住所)	年齢	氏名 (住所)
106	小野瀬 くに (山方)	99	小野 とし (中居)
104	鹿島 一 (野上)	99	野宮 常 (高部)
104	内田 セイ (上小瀬)	99	立原 きん (西野内)
103	但野 サキ (野口平)	99	須能 しん (泉)
103	君島 とし (野口)	99	立金 スタガ (下町)
103	會澤 節 (諸沢)	99	相河 タマ (高部)
103	桑名 トミ (上小瀬)	99	阿久津 アサ (鷺子)
103	桑田 モト (上小瀬)	99	岡崎 勝一 (氷之沢)
102	金子 ふちの (長田)	99	木村 あゆ (舟生)
102	長山 ヒテ (下小瀬)	99	蓮田 源よ (千田)
102	小林 りゑ (野口)	99	小田 林よ (小場)
102	鈴木 西之介 (鷹巣)	99	小鈴 木よ (辰ノ口)
101	川野 秀雄 (鷺子)	99	和久 フヨ (鷺子)
101	青山 はるの (檜山)	99	青柳 きく (下檜沢)
101	渡辺 ふさ (照山)	99	石川 くに (塩原)
101	塙 毅 (東野)		
100	切石 はな (中富町)		
100	野上 みさ (八田)		
100	野鯉 千代 (上小瀬)		
100	小泉 よね (上村田)		
100	小鈴木 テフ (那賀)		
100	藤田 けさ (鷹巣)		
100	岡 崎よ志 (上小瀬)		

9月1日現在 敬称略

※掲載を希望されない方の氏名は掲載していません。



南極昭和基地とライブ中継!

9月14日、美和小学校で、5・6年生57人が参加し、南極教室が実施されました。

この教室は、南極観測の現実を知り、地球や宇宙のことを考えてもらうことを目的として東京都にある国立極地研究所が開催したもので、衛星回線を使って美和小学校と昭和基地をテレビ電話で結び、隊員と児童たちが交信を行いました。



▲テレビモニターに映る岡山隊員へ質問する児童

児童たちが交信したのは第52次日本南極地域観測隊の方々。その中の一人、岡山英樹隊員は美和地域出身で、29年前の旧窪郷小学校の卒業生です。

南極教室は、南極までの道のりの紹介や南極の現在の状況と昭和基地の内部の様子との説明のあと、南極クイズそして児童たちが質問する時間とかが、水を空にまいても凍らないお湯は凍るなど、予想外の回答に驚きの声を上げていました。

交信の終わりに、児童代表の堀江侑くんがお礼の言葉を述べ、1万4千キロ離れた岡山隊員にみんなで手を振り、教室は終了となりました。

善意をありがとう

〈常陸大宮市へ〉

敬称略



株式会社龍崎工務店
代表取締役 龍崎眞一



放射能測定器
5台

第3回お化け南瓜コンテスト

9月18日、緒川地域の物産センターかざぐるまで第3回お化け南瓜コンテストが開催されました。

この催しは、かざぐるまの出荷会員が参加して行われたもので、出品された南瓜は250点超。審査は、3部門で行われ、重量部門は岡崎時枝さん(77・8kg)、イケメン部門は高倉一力さん、ユーモア部門は五位 潤粵さんが第1位となりました。

出品された南瓜は、国営ひたちなか海浜公園や東京都江東区の夢の島熱帯植物園に場所を移し、お化け南瓜コンクールや夢の島ハロウィンパーティー等様々な企画で使用され、来場者を楽しませました。



しめやかに戦没者追悼式

9月26日、市文化センター小ホールにおいて平成23年度市戦没者追悼式がしめやかに行われ、遺族と来賓など約200人が参列しました。

参列者全員が黙とうをささげ、市長が式辞を述べた後、参列者の中から6人が追悼の辞を述べ、戦没者への追悼と平和を誓い、あいさつとして献花が行われました。

常陸大宮市の戦没者は2198柱。追悼式は、大戦等における戦没者の御霊に対して追悼の意を表すとともに、遺族の方々の労苦に対し深い敬意を表し、市民を挙げて平和を祈念するため3年に一度行われます。



有害鳥獣捕獲実施

市内全域で、農作物の被害防止対策として行っている平成23年度第2回目の有害鳥獣の捕獲が、7月1日から8月31日まで、有害鳥獣捕獲隊（河西敏夫隊長）50人により、実施されました。

捕獲結果は下記のとおりです。

種類	地域	大宮	山方	美和	緒川	御前山	合計
イノシシ		12	3	3	7	1	26
ハクビシン		1	0	0	3	2	6
カラス		8	5	0	3	3	19
カルガモ		5	0	1	1	1	8



台風15号が猛威

台風15号により市内でも多くの被害が発生しました。

9月21日から22日にかけて雨が降り続き、2日間の降水量は美和地域の鷺子で235mmを記録。川の水が増水し、市内で床下浸水30件、床上浸水29件の住宅被害等がありました。

3月11日の地震そして今回の台風により市内でも大きな被害が発生しています。

災害から大切な命を守るための備えができているか、もう一度確認しておきましょう。



▲22日午前中の御前山大橋周辺の様子

まちのできごと 原稿募集

皆さんがお住まいの地域のできごと取材し原稿と写真をお持ちください。

ただし、お寄せいただいた原稿等は掲載できない場合もありますので、ご了承ください。

問い合わせ



企画課 情報・広報グループ
☎ 52-1111 内線 384
FAX 53-6010
✉ kikaku@city.hitachiomiya.lg.jp

広報常陸大宮・ホームページ 掲載広告募集中!

広報紙 半枠(縦45mm×横 85mm): 9,000円/回
全枠(縦45mm×横175mm): 18,000円/回

* 詳しくはホームページをご覧ください。企画課行政改革推進室(☎52-1111 内線323)までお問い合わせください。

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

被災した文化財復旧のための
ボランティア活動

◆高部景義墓・ケビン村庚申塔の修復

7月23日、8月27日の両日、筑波大学世界遺産専攻の松井敏也研究室と有志により高部景義墓(市指定文化財)と山方地域ケビン村内の庚申塚に建つ庚申塔の修復が行われました。

高部景義は佐竹氏の一族で高部氏の初代、南北朝時代の高部の領主です。その墓と伝わる室町時代初期の宝篋印塔が倒壊し隅飾りが破損したため、石材に悪影響を及ぼさないエポキシ樹脂を使い修復が行われました。また庚申塔は、倒壊で2つに折れた石碑の接着部分の隙間からの雨水等の浸透による割れを防ぐため、エポキシ樹脂に石の粉を混ぜた擬岩を作り、丁寧に埋め込む作業が行われました。



▲庚申塔の修復作業

◆下岩瀬地区五大尊の仏像整理

8月9日、10日の両日、茨城大学人文学部の高橋修教授と学生有志により、下岩瀬地区の五大尊堂の仏像の整理が行われました。

五大尊堂は震災により柱が外れたり基礎がずれたりするなど大きな被害を受けました。倒壊と盗難の危険性があったため、中に祀られていた仏像・仏具を資料館に一時避難することになり仏像の清掃・整理作業が行われました。



▲五大尊の修復作業

五大明王など6体の仏像がありましたが、仏像本体、台座、光背などが破損してばらばらになっていました。桜川市の仏師飯泉太子宗さんのご指導を得ながら、同定作業に取り組んでいました。不動明王像には文政3年(1820)に作られたことがわかる胎内銘があることも発見され、地域の史料保全の重要性を改めて実感することになりました。

歴史民俗資料館 ☎52-1450

スポーツ大会結果

敬称略

常陸大宮市近郊中学校バレーボール夏季大会

開催日：8月21日
主催：常陸大宮市教育委員会
一般財団法人常陸大宮市体育協会
会場：緒川中学校体育館
参加チーム：8チーム

優勝 常陸大宮市立緒川中学校
準優勝 常陸大宮市立山方中学校
第3位 常陸大宮市立大宮中学校
那珂市立第四中学校



▲優勝した緒川中学校の皆さん



災害研究から実践へ

茨城大学人文学部

准教授 原口 弥生さん

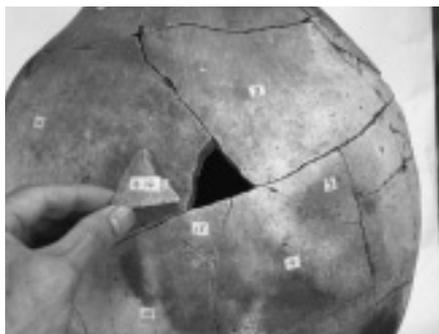
大学では、環境社会学、環境政策論などを担当しています。ここ数年は、2005年にアメリカ南部を襲ったハリケーン・カトリーナ災害について研究してきました。



そうしたなかで経験した3.11。研究より実践が優先される非常事態と思い、福島から茨城への避難者(主に子どもと母親)を対象にした茶話会/ママ・カフェを開催しています。学生ボランティアやNPO commons・ホープいばらき、女性弁護士、助産師の方々と、幾重もの支援の輪が広がっています。ほかに、県内外の市民グループの方と放射線測定の「市民調査」活動を展開中です。

11月の市民大学講座で、お会いできることを楽しみにしています。

※この修復事業には(財)朝日新聞文化財団より助成を受けています



写真提供：府中工房 堀江武史氏

8月中旬の時点でバラバラの破片に分解され、クリーニングと割れ口の補強を施した「いずみ」。1カ月後には、アクリル系の強力な接着剤での接合がほぼ完了しました。

資料館で展示していた時の「いずみ」には、数か所破片のない部分がありました。発掘にあたった鈴木素行さんが土器片を精査したところ、「いずみ」のものと思われる4つの破片を見出しました。今回の修復でそのうちの2片がピタリとはまり、「いずみ」はより完形に近づきました。



「いずみ」接合完了!?

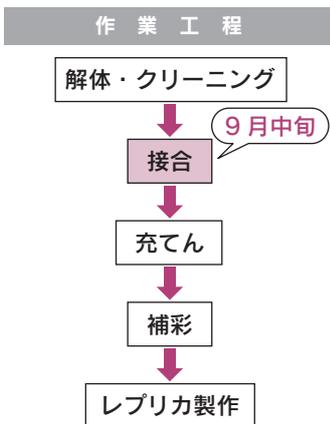
人面付土器

「いずみ」

修復中!

②

歴史民俗資料館 ☎ 52-11450



9月中旬現在、「いずみ」は接合部の微調整中。この作業が終了すれば、接合面のすき間や欠損部に補強のための詰めものをする「充てん」の段階へと進みます。次回はこの作業についてお知らせします。

土器修復師の堀江さんのお話では、「いずみ」の接合作業は3日程でできるけれど、大変なのはこれから」とのこと。2千年もの間土の中にあつた土器は、割れ目が弱ってすり減ってしまったり、1つずつの破片に土の圧力によるゆがみが生じているので、接合した部分にすき間やわずかな段差が、どうしてもできてしまうのだそうです。接合部分を指の感触で確認しながら、すき間や段差を最小限にするよう、接着剤を薬剤で柔らかくしつつ、1つの破片のゆがみのために周囲の破片も微調整していく作業は、完成までになつて2週間はかかるとのこと。気の抜けない繊細な作業です。



2千年のゆがみを
微調整

知って得する 消費者情報③

震災を口実に訪問する貴金属の買い取りサービスにご注意を!

震災後、「売却代金を義援金の一部にするので貴金属を提供してほしい」などといった貴金属の買い取りサービスに関する相談が、全国の消費生活センターに寄せられています。震災を口実に買い取りの勧誘を行い、「震災被害の役に立てば」という消費者の親切心につけこむ悪質なケースが見られるようになってきました。

自宅を訪問した業者に貴金属等を渡してしまうと、返品を求めても取り返せないことがほとんどです。くれぐれもご注意ください。

ひとこと助言

◎買い取ってもらうつもりが無いなら毅然と断る。
契約するかどうか十分に検討しましょう。

◎相手がどのような業者なのか確認する。
契約前に、業者の住所や電話番号、古物商許可証等の提示を求め、内容を確認し書き留めておきましょう。

◎一人では対処しない。
来訪した業者に買い取りを依頼する場合は、家族や近所の方に同席してもらうようにしましょう。

◎買い取り条件などが明記された書類をもらうこと。

困った時は消費生活センターにご相談ください。

- 茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
- 常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通)(本庁商工観光課内)



空き家の再利用

考えてみませんか？

眠っている資源を活用して地域に元気を！

市内の各地で、人口の減少・流出により空き家が増加してきています。人が住まなくなった家の劣化は想像以上に早く進行し、1年も放置しておくで大規模な修繕が必要となり、再生も困難な状態となってしまう。その一方、都市部に住んでいる人の中には、自然に囲まれて暮らせる地方への移住や定住、2地域居住などを考える人が増加傾向にあるとともに、原発事故の影響で福島県から空き家を探している方の相談も数件あります。

このような状況を踏まえ、市では空き家の利活用による地域の活性化に取り組んでいます。具体的には、本市への移住を希望される方に窓口等での情報提供を行い、条件に合う空き家物件があれば現地を案内し、所有（管理）者との橋渡しを行うというものです。

ここでいう「空き家」とは、貸家（アパートや賃貸マンション等）を目的としたものでなく、常住する者がいない住宅（住宅以外の建物であつて、住宅に改造するものを含む）を

いいます。

また茨城県や県北地域の7市町、民間企業が出捐して組織する財団法人グリーンふるさと振興機構とも連携・情報共有し、県北地域に都市部住人の多くを受け入れています。

価値観が多様化している現在だからこそ、一方では不要なものも、もう一方では必要なものになり得る場合も十分考えられます。

空き家の取り扱いにお困りの方は、ぜひ一度ご相談ください。



空き家を活用するための各種補助制度

□ ■ ■ ■ 市の助成事業 □ ■ ■ ■

※対象となる地域は、大宮地域の一部（東野、上大賀、岩崎、辰ノ口、三美、西塩子、北塩子、照田）及び山方・美和・緒川・御前山地域の全部です。

空き家改修費補助金（上限50万円）

空き家を賃借または購入し、機能及び環境向上のために修繕した場合に交付。

交付対象者：借主または買主

移住促進協力謝礼金（5万円）

空き家を市外からの転入者に賃貸または売買した場合に交付。

交付対象者：貸主または売主

□ ■ ■ ■ (財) グリーンふるさと振興機構の助成事業 □ ■ ■ ■

※対象となる地域は、大宮・山方・美和・緒川・御前山地域の全部です。

“いばらきさとやま生活” 田舎暮らし空き家賃貸に伴う環境整備（上限20万円）

空き家内に残る家財の整理や清掃のほか、障子やふすまの張り替え等の経費。

これらの助成事業は1回限りの交付となります。

また、物件の損傷の程度等により取り扱いをご遠慮させていただく場合もありますのでご了承ください。

◆ 問い合わせ ◆ 市民協働課 地域づくり支援グループ

☎52-1111（内線126・127） E-mail：kyodo@city.hitachiomiya.lg.jp

財団法人 グリーンふるさと振興機構

☎0294-72-2266 E-mail：admingreen@greenful.jp

実際に

長谷川浩美さんにインタビュー

移住された方の声

長谷川さんは、平成22年度に常陸大宮市下檜沢の空き家を購入し移住されました。



Q1 お仕事は何をされていますか？

A1 移住地にて飲食業を営んでいます。夫婦二人で営む小さなレストランです。

Q2 常陸大宮市への移住を考えたきっかけは？

A2 以前から「田舎暮らし」をしたかったため、時間をかけて物件を探していましたが、ここは、都心部に比較的近い割には、想像以上に里山の風景が見て取れたことと、物件を紹介してくださった方が、親身になって移住後の生活プラン等のアドバイスをしてくださったこと、地域の方々にも快く接していただいたおかげで、この地で暮らす気持ちになりました。

Q3 実際に住んでみてどうですか？

A3 多少の不便さはあるものの、都市部と違い、夜の静けさのなか眠りにつき、小鳥のさえずりで目を覚ます毎日。四季の移り変わりが感じられ、自然の営みの素晴らしさを実感していますし、毎日やることが多く、充実した田舎暮らしを楽しんでいます。

Q4 毎日の生活パターンを教えてください。

A4 夜明けと共に起床して、予約がある場合は仕込みに入り、無い場合は家の手直しや、庭木の手入れ、裏の畑での野菜作りをして一日を楽しく過ごしています。

Q5 これから移住を考えている方へのアドバイスをお願いします。

A5 目的をもって移り住むことは大切ですが、考え過ぎても次の一步が踏み出せなくなります。ある程度希望や条件が整ったら、決断し実行することをお勧めします。

—ご協力ありがとうございました。—

平成22年度には5組12の方が移住されました

山方地域 2組 5人 美和地域 3組 7人

※市または(財)グリーンふるさと振興機構を通して、空き家を利活用して移住された方々

特定保健指導はあなたの健康づくりを応援します

特定健診を受けたあとは

あなたの健診結果はどうでしたか？基準値を超えている検査項目はありましたか？基準値内でも、毎年少しずつ数値が上がっている項目は注意していく必要があります。

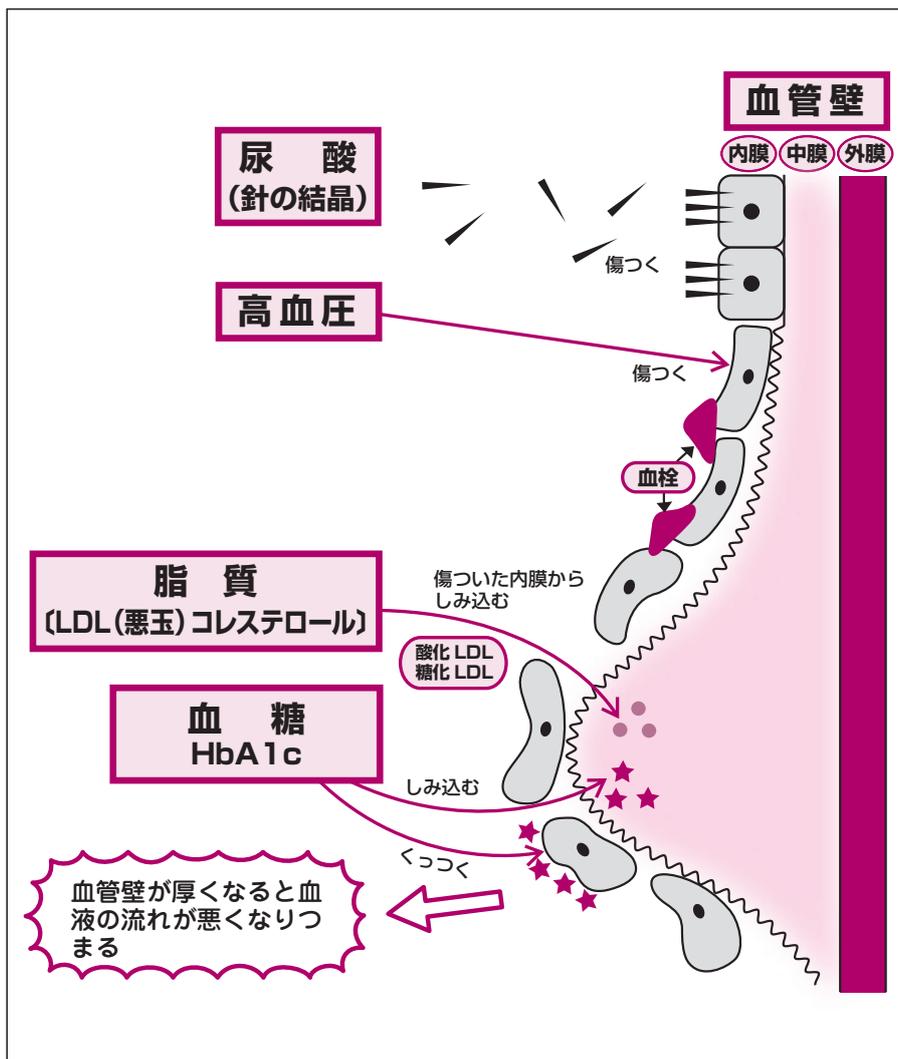
特定健診は血管変化（動脈硬化）に視点を当てた健診ですが、血管で動脈硬化がはじまっていたとしても自覚症状はありません。だからといって、体の中の血管を目で見ることとは到底不可能です。唯一血管の状態を教えてくれるのが、健診結果となるのです。

血管変化の鍵となるのは「血圧・血糖・脂質・尿酸」です。これらの因子が血管にどのような影響を与えるのか見てみましょう。

* * * * *

「血圧」が高くなると、血管内の圧力が高くなるため血管壁を傷つけ「尿酸」が高くなると、針のような結晶ができあがり、血管壁を突っつき傷つけます。そして、「血糖」が高くなると、べたべたとくっついたり、壁の中にしみこんだりして血管壁を変化させます。さらに「脂質」は、血管の壁の中にしみこみプラーク（こぶ）を作り、血管の内側を狭くします。また、プラークは、とてももろく破れやすいため、破れた部分に血栓を作り、ますます血管を狭くしてしまいます。

これらの因子が、1つより2つ3つと重なるにつれ血管変化は進み、次第に血管の壁は厚く硬くなり、狭くなっていきます。その結果、心筋梗塞・脳卒中などを引き起こします。健診結果に血管変化を進める危険因子があった場合、毎日の生活を振り返り生活習慣を見直すことで、血管変化にブレーキをかけることができます。



保健師・管理栄養士より

健診の結果、生活習慣病にかかる危険性が高い方に対し、生活習慣改善のためのお手伝いをします。検査値の異常の原因がどこにあるのかを、生活を振り返りながら一緒に考えていきましょう。

「私の健康記録」より引用

■ 問い合わせ ■ 健康推進課 [総合保健福祉センター(かがやき)内] ☎54-7121

弾正塚

◆部垂の乱と内田弾正

天文九年（一五四〇）三月十四日、部垂城を小貫氏から奪って城主となった部垂義元が実兄の佐竹氏十七代義篤によって討たれた争いがありました。部垂の乱です。享禄二年（二五一九）から十二年もの間続いた佐竹氏の内紛でした。明治六年（一八七三）

に豊田重章によって

筆写された『部垂城御実伝』によれば、籠城戦となった部垂城側は小嶋氏と小瀬氏に援軍を依頼、二家は後詰めとして湯賀坂（抽ヶ台周辺か）と田子内に陣を張ったといいますが、黒沢大学の寝返りにより劣勢に立たされ、部垂城は落城、部垂義元は自害し、その子竹寿丸は黒沢大学によって殺害されました。後詰めの小嶋義宗、内田弾正も落城を知って、その場で自害したとされま

す。その場所が今に「弾正塚」と呼ばれ、石碑が建てられているところ

です。この内田弾正とはどんな人物なのでしょう

とい、小舟地区赤石に住したとされています。内田弾正の子孫である内田英雄家は「赤石」を屋号としていて、今にその系譜が継承されています。小舟の内田家の墓域にある弾正の墓は高さ七〇cmほどで、正面に「天文九庚子年三月十五日」内田弾正源義兼之墓、背面に「蒙 国君之命以儒道祭祀」藩主の命によって儒道によって墓を祀った」と刻まれています。内田家の喜衛門（源昌廣）の代に建てたことも刻まれています。建碑の年代は定かではありませんが、江戸時代になってから供養のために建てられたと考えられます。



▲内田弾正の墓（小舟地区）

内田家の伝承では、内田弾正は小瀬城の家老で小舟城の城主でした。天文九年の部垂の乱で、前述のように部垂城からの応援要請に応じて出陣したものの、途中の川が増水していたため遠回りしていかななくてはならなくなり、部垂城が見える場所まで来た時には城から煙が見えたため落城を悟り、その場で自害した、と伝えられています。また、その時十三人の家臣が従っていて、弾正の自害にあたって家臣は小瀬に返された

とも、共に自害して果てた、とも伝わり

◆守り伝えられる弾正塚

内田弾正が自害したとされる田子内町内には、地区の方々により弾正塚が祀られています。



▲弾正塚（田子内町内）

内田弾正自害の伝説は永く語り伝えられてはいましたが、特に供養碑などが作られていなかったことを嘆き、昭和二十六年に県会議員で旧緒川村出身の三村勇氏や当時の大宮町議会議長矢数欣三郎氏、そして地元田子内地区の住民有志によって石碑が建てられました。これが現在の弾正塚の石碑です。石碑正面には「内田弾正左衛門之墓」と刻まれ、背面に建碑の経緯が彫られています。では昭和二十六年以前はどうだったのでしょうか。

実はこの石、もともとここで祀られていたもので、地元の若者が担

あげて力比べをした「力石」だったのではないかとはいわれています。弾正塚を祀るにあたり、以前から内田弾正の供養石として意識されていたこの石に文字を刻んで供養碑にしたもの、とも考えられます。そういえば、ちょうど持ちあげやすそうな形です。供養という枠を越えて、古くから地域に溶け込んでいる様子が伝わります。



▲弾正塚の石碑背面

現在も毎年、命日の三月十四日には地元の高齢者クラブ「田子内親和会」の方々が、生垣の剪定、清掃をして花や線香を手向けたあと、集会所で飲食をして慰霊の会を行っています。

今年三月十一日に地震があったため、命日には慰霊祭はありませんでしたが、親和会の皆さんで掃除をし、供養が行われたそうです。

※井坂實男さん、内田英雄さんに聞き取り調査にご協力いただきました。

歴史民俗資料館大宮館

52-11450



家庭からの火災を防ぐために

季節は秋真ただ中です。これからの時期、空気が乾燥し、火災の発生しやすい気象状況が続きます。家庭から、火災を起さないよう、皆さんで注意しましょう。



- 1 家の周りに燃えやすい物を置かない
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- 3 揚げ物をする時は、その場を離れない
- 4 風の強い時は、たき火をしない
- 5 子どもにはマッチ・ライターで遊ばせない
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線しない
- 7 ストープの周りに燃えやすい物を置かない

暖房器具

1 カーテンなど、燃えやすい物の近くで使用しない。周囲に洗濯物を干さない。

2 暖房器具を使用している部屋で、可燃性のガスを含んだ Sprei 缶は使用しない。

3 火をつけたまま、または電源スイッチを入れたまま移動しない。

4 石油ストーブに給油する時は必ず火を消してから行う。



電気の取り扱い

1 電気コードは電気容量に限界があります。たこ足配線などによる容量を超えた使用はやめましょう。

2 電気コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたりしないようにしましょう。

3 使用しない電気器具の差し込みプラグはコンセントから抜いておきましょう。

4 コンセントや差し込みプラグは、いつもきれいにしておきましょう。



放火

1 不要な物は処分し、家の周りに燃えやすい物を置かない。

2 ごみは指定日に、収集場所に出し、不法投棄はしない。

3 外出・就寝時は鍵をかける。他人が自由に入れる駐車場では、燃えやすいボディーカバーは使用しない。

5 外灯を設置するなど、夜間も家の周りを明るくする。



たばこ

何気なく吸っているたばこの温度は800℃です。家の中で毎日火をつけているたばこは、ついその危険性を忘れがち。塗料や接着剤には可燃性の溶剤が含まれているので、たばこを吸いながら子どものプラモデル作りを手伝ったり、ヘアスプレーを使ったりするのは危険なのでやめましょう。





資源の持ち去りは禁止されています

市民の皆さんの協力によりごみ集積所に出された、缶・瓶・ペットボトル・古紙（新聞等）などの再生資源を、市が回収する前にトラックなどで持ち去る行為は禁止されています。

しかし、市内ではこのような行為が発生しているため、警察と連携しパトロールを実施しています。

持ち去り防止にご協力ください

再生資源の持ち去り行為を行っている不審な車を見かけたら、声をかけたりせずに、本庁環境課または各総合支所市民福祉課まで情報の提供（日時・場所・車両ナンバーなど）をお願いします。

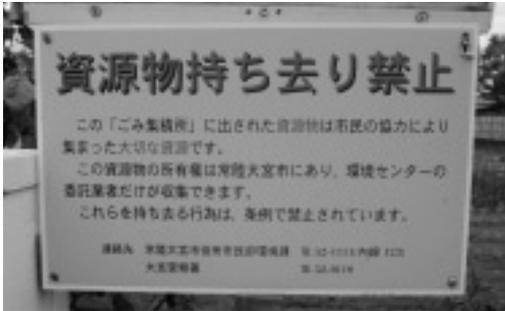


持ち去りを禁止している資源物

- ・瓶類 ・缶類 ・紙類
- ・鉄、アルミニウムその他の金属類を原料とするごみ

■ 問い合わせ ■

環境課 ☎52-1111
各総合支所市民福祉課
山 方 ☎57-2121 美 和 ☎58-2111
緒 川 ☎56-3991 御前山 ☎55-2112



健康 通信

常陸大宮済生会病院
内科・循環器科
田口 慎介先生

「寒い時の運動って体にいいの？」

一般的に寒い時に運動することは大変だなというイメージがあります。しかし、寒い時期というのは、実は運動するには適した時期かもしれないのです。運動すると筋肉が熱を出し身体は温かくなります。夏は身体の中も外も暑い状態が続き、バテてしまいやすく熱中症をおこす心配があるのですが、寒い時期は周りが冷えていますので熱が発散しやすく、筋肉にとっては大変良い環境といえます。

しかし、寒い時期の運動には注意しなければならないことが多くあります。第一に心臓への負担です。寒さに対して熱の放散を防いだり、寒さに対抗して暖かくしようとしたりするために、交感神経が過度に緊張して血管が収縮し、血圧が上昇しやすくなります。その上、運動中は安静時よりも多くの血液を全身に送り込まなければいけません。

第二に筋肉等への負担です。筋肉や腱、靭帯は体を動かすために非常に重要な役割を果たします。寒い時には弾力性が低下するため、障がいがおきやすくなることに注意しなければいけません。

寒い時期は、運動不足からどうしても太りがちになりますので、自分に合った運動をすることをおすすめします。事故を防ぎ、効果的に運動を実践してみましょう。

● 寒い時期の運動の注意点

- 1 準備運動をしっかり行いましょう**
準備運動は、時間をかけてゆっくり体を温めていきます。外へ出る前に家中でストレッチ体操等を行うことも工夫の一つです。
- 2 服装に気を配りましょう**
外へ出る時は3～4枚薄手の物を着て、さらにジャンパーなど風を通さない物を着用し、帽子、手袋などを活用するのが効果的です。運動をし始めると暖かくなるので帽子を取ったり、手袋を取ったり、必要であれば着ているものを1枚、2枚と脱いでいくと良いでしょう。
- 3 暖かい時間に運動しましょう**
寒い時期は、できるだけ日中の暖かい時間を有効に活用しましょう。



ひたまるがゆく

ひたまる 2歳に！

常陸大宮市が誕生して7年目を迎えた平成23年10月16日はひたまるの2歳の誕生日！ひたまるのプロフィールを紹介します。

誕生日：平成21年10月16日
性別：不明
性格：やさしくて元気
好きなもの：しいたけ
活動内容：各種イベントへの参加
イベントがない時の過ごし方：飛ぶ練習



いつか空へ羽ばたく日を夢見て

男の料理教室

9月9日、緒川総合センターで男の料理教室が開かれました。

この教室は、生活に役立つ知識を学んでもらおうと、男女共同参画推進会議が中心となって開かれたものです。

参加者は9人。講師に市内で食堂を経営する木村昌信氏を招き、米粉うどんと具だくさんのつけ汁を作りました。

うどんを作るのは初めてという方も積極的に作業を行い、コシがあり、もちもちとした食感の米粉うどんができあがりました。



▲プロの料理人の手さばきに目がくぎ付け



塩田地区で稲刈り

9月25日、塩田ふるさと協議会（大貫孝夫会長）が募集した豊島区と県内外のお米作りオーナー約50人が、稲刈りを行いました。

この催しは、おいしいお米を生産する塩田地区のPRと交流による地域活性化を図ることを目的として、平成21年度より取り組んでいる事業です。

参加者は手刈りでの稲刈りにチャレンジ。和やかな雰囲気で行われ、参加者の方からは「みんなでやると農業って楽しい！」との声も聞かれました。



▲鎌を使っでの稲刈りは重労働

広報 常陸大宮 10月 第85号

発行日 平成23年10月25日

発行／常陸大宮市

編集／企画課

〒319-2292

茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

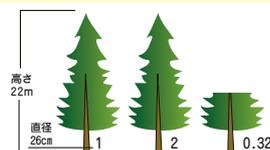
URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/



常陸大宮市の人口（10月1日現在・推計常住者）

総人口44,585人 世帯数16,113世帯

この印刷物は、常陸大宮市役所が、印刷プロセスで使用する3.17kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、**CO2排出量を32.32kg削減しました。**



32.32kgのCO2削減量とは
樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の杉の木約2.32本分が
1年間に吸収するCO2量に匹敵します。

(出典：林業白書)

常陸大宮市役所は、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国立公園内の植樹3,000本)に参加しています。